

6年 Unit3 Let's go to Italy!

令和3年7月9日(金)第5校時

6年1組 33名(男子20名 女子13名)

指導者 芳賀 晶子(T1)

Ricardo Cirilo Amorea Mercado(T2)

1 単元目標

リックキー一家が楽しめるような海外旅行の行先を提案するために、国のことを調べ説明することができる。

2 該当する学習指導要領における領域別目標

聞くこと イ、話すこと[やり取り] イ、話すこと[発表] ウ、書くこと ア

3 授業のねらいと概要

○単元計画(8時間+社会科1時間+総合的な学習の時間1時間)と評価

時	・学習活動 《めあて》 【総括的評価(観点)】 ※英語表記は習得させたい表現	帯グラフは授業でのMDCIの割合 吹き出しは形成的評価
モチベーション (Motivation [M]): 学習のめあてを明確化		
1	<ul style="list-style-type: none"> どんな国を知っているか、Teams を使って出し合う。 単元のめあて(「リックキー先生の家族が楽しめるような旅先を提案するプレゼンテーションをしよう」)を知る。《リックキー先生に聞きたいことを考えよう》 提案するために必要な情報を集めるための準備をする。 	<p>・何をリックキー先生に聞きたいか考えている。(思判表)</p>
2 with ALT	<ul style="list-style-type: none"> 《リックキー先生に質問をして必要な情報を集めよう》 今まで習った表現を使って、リックキー先生に質問をして必要な情報を集める。家族構成、行ったことのある国、好き/苦手な食べ物、好きな場所(山/海)、興味のあること(アウトドア/インドア) など 	<p>・必要な情報を集めることができている。(技)</p>
社会科 1時間	<ul style="list-style-type: none"> 《世界の国の特徴を捉え、リックキー先生に提案する国を決めよう》 どのような国が提案する候補になるかを考え、自分の担当する国を決める。 	<p>・提案する国を国の特徴を捉え、決めることができている[ワークシート](思判表)</p>
デモンストレーション (Demonstration [D]): 知識習得と整理		
3	<ul style="list-style-type: none"> 《リックキー先生に提案する国のことをどのように伝えればよいか考えよう》“You can ~.” 教科書の例を聞き、“You can ~.”の表現の仕方を知る。 自分が提案する国のことを練習する。 	<p>・見るものは You can see ~ 食べるものは You can eat ~ のように can を使えば表現できることに気づいている。(思判表)</p>
4 with ALT	<ul style="list-style-type: none"> 《リックキー先生に魅力的に伝わるように工夫しよう》“You can ~.” “It's ~.” “~ is ~.” 教科書の例を聞き、“You can ~.”の後 “It's ~.”と付け足していることを知る。 自分が提案する国のことを友達と練習をする。 	<p>・You can ~. It's ~. を使って、提案したいことを伝えることができる(技)</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> 《何を伝えるかを明らかにして、プレゼンテーションの練習をしよう》 何を伝えたいかを決めて、今まで習ってきた表現を使い友達と練習をする。 練習した内容をメモとして、書く。 	<p>・自分が本当に伝えたいことを決めている。(思・判・表)</p>
コミュニケーション (Communication [C]): 伝え合う活動と情報の共有		
6 with ALT 本時	<ul style="list-style-type: none"> 《リックキー先生の心を動かそう! ~心を動かすための工夫を考えよう~》 どのように伝えれば、聞き手の心が動くかを考える。 プレゼンテーションの練習を友達とする。 	<p>・You can ~. It's ~. を使って提案したいことを伝えることができている。(技) ・伝え方の工夫を生かして伝えている。(思・判・表)</p>
総合 1時間	<ul style="list-style-type: none"> 《リックキー先生にその国の魅力が伝わるパワーポイントを作ろう》 パワーポイントの使い方を知り、構成に沿ったパワーポイントを作る。 	
7 with ALT	<ul style="list-style-type: none"> 《リックキー先生と家族が楽しめる旅先を提案しよう!》 それぞれがプレゼンテーションをする。 <p>[行ってみたいおススメの国と、その理由などについて、[~ is ... You can ~. It's ~. およびその関連語句など]を用いて、聞いたり、話したりする技能を身に付けている。(技)]</p> <p>[相手のことをよく理解し、提案したい国や決め、その理由などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、話したりしている。(思・判・表)]</p>	
イノベーション (Innovation [I]): 学びから自分の考えをもつ		
8	<ul style="list-style-type: none"> 《リックキー先生の家族にも伝わるように手作りポスターを作ろう》 スピーチした内容を書く。 友達の提案を聞いて、世界には様々な国があることを知り、行ってみたい国に対する憧れをもつ。 	<p>・ワークシートにプレゼンの内容を書くことができる。(技)</p>

○単元における「児童が主体的に取り組む」ための手立て

手立て①：児童による課題作り
→ALT に質問する内容を自分たちで考えて、必要な情報を集めていく活動。

手立て②：タブレット端末を使った調べ学習
→国情報を集め、共有し、活用していく。
→伝えたい単語を調べるための“辞書”的な役割。

子どもたちがすすんで調べ、伝えたいような目的、場面、状況の設定

主体的に取り組む活動

Goal：自分たちの提案を聞いてもらい、ALT を楽しい旅をしたい気持ちにさせる

様々な表現や言葉を用い、他者意識をもちながら、自分の考えや気持ちを伝え合う子ども

手立て③：自分の成長が実感できるワークシート→自分の考えや思いを日本語で明確にし、スモールステップで英語での表現ができるようになる。
→単元全体のワークシートを1枚にまとめることで、できるようになったことを視覚的にも理解していく。

～ 授業レシピ ～

〈材料〉絵本の挿絵 “What a wonderful world” (Oxford University Press)

アルファベットチャート (小文字)、音素体操 (「小学校英語の文字指導」より、アレン玉井光江著)

本時のねらい

自分の提案する国について、聞き手の心が動くような、表現方法を知り、英語で伝えることができる。

【指導者の活動 (T1○ T2●) と使用英語 ◆指導上の留意点 ◇形成的評価】

1 あいさつ・英語学習への導入 (6分)

- ・ Greeting
- ・ Song “What a wonderful world” 6 回目

◆始め方を同じにすることで、安心して英語学習に切り替えさせていく。

○Let’s get started!!
Hello, everyone!
How is the weather today?
●What day is it today?
What date is it today?
○Let’s sing a song!
♪What a wonderful world

2 Literacy (7分)

- ・ 音素体操 7 回目
- ・ Sounds and Letters “F”

◆ALT が音の正確さを聞き、苦手なものの練習を促す。

○Let’s do “音素体操”! Repeat after me.
●Try “~” again!
○Open your textbook, page90.

3 Unit 3 Let’s go to Italy! 5 回目 (30分)

○Let’s move on to Unit3!

モチベーション (Motivation): 学習のめあてを明確化

- ・ Today’s Goal 《リッキー先生の心を動かそう! ~心を動かすための工夫を考えよう~》
- ◆今までの学習を振り返り、今日のめあてを確認する。

デモンストレーション (Demonstration): 知識習得と整理

- ・ 担任の悪い例から何がよくないかを考えさせ、担任の改善された例を聞く。
- ・ ALT の母国についての紹介を聞き、心が動くプレゼンテーションのイメージを持つ。
- ◆国語で学習した「相手に伝える伝え方」についての掲示を参照する。

コミュニケーション (Communication): 伝え合う活動と情報の共有

- ・ 友達と練習する。(1 回目: 隣の人と)
- ・ 全体で困ったことを共有する。
- ・ 友達と練習する。(2 回目: 前後の人と)
- ◆担任と ALT のやり取りから、伝え合う活動のイメージをもたせる。
- ◆困ったことは ALT にたずねる。

○Let’s practice with your friend.

イノベーション (Innovation): 学びから自分の考えをもつ

- ・ 発表をし、成長した自分たちを実感する。
- ・ 次回、総合的な学習の時間でプレゼンテーションを作ることを知る。

◇You can ~. It’s ~. を使って提案したいことを伝えることができる。(技)

◇伝え方の工夫を生かして伝えている。(思・判・表)

4 Goodbye song (2分)

○That’s all for today.